

さがす、みつける、かけつける。

ココセコム

オペレーションセンター



2021年
6月

株主通信

セコム株式会社

第60期決算報告

Top Message

with コロナ・after コロナの時代を見据え、
成長スピードを加速していく

新型コロナウイルス感染症への対応、当期の経営成績、各種の取り組み状況について、社長の尾関一郎からご説明いたします。

セコム株式会社 代表取締役社長 **尾関 一郎**



新型コロナウイルス感染症への 継続した対応について

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

セコムでは昨年3月に立ち上げた対策本部のもと、マスク着用・手洗いの徹底、アルコール消毒液の設置・使用、時差通勤・テレワークの積極的な実施などにより、サービスの提供を維持しながら感染拡大防止対策に取り組んでいます。

今後もお客様と従業員の安全確保を最優先に考え、引き続き関係各所と連携し、必要な措置を講じていきます。

当期の経営成績

当期のセコムグループの経営成績は、前期に比べ減収減益という厳しいものでしたが、売上高、営業利益、経常利益で当初の計画を上回ることができました。

新型コロナウイルス感染症による経済・社会活動停滞の影響を受けましたが、多様化・高度化するお客様のニーズに対し、きめ細やかな切れ目のないサービスの提供に努めた結果です。

「セコムグループ2030年ビジョン」の 実現に向けての取り組み状況

セコムグループは、「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する「社会システム産業」の構築をめざすなかで策定した「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて取り組んでいます。

昨年来のコロナ禍における新たなニーズに対応し、タブレット端末一体型のサーマルカメラや、安全なテレワーク環境構築を支援する「セコムあんしんテレワーク（USBリモート端末）」など、感染拡大防止に寄与する商品・サービスを発売しました。3月には屋外用セキュリティ専用端末「ココセコム」のサービスをリニューアルし、新開発のスマートフォン専用アプリとの連携機能により、ビジネスシーンやご家庭などの多様な用途における利便性の向上を図りました。また、アジアで増加しつつある富裕層、中間層を含む新たな成長市場への事業展開を推進し、高い成長が期待できる海外での業容拡大を一層加速するため、マレーシア・シンガポール・香港においてセキュリティ会社3社を子会社化しました。

最後に、株主の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、感染症の影響による厳しい状況が続くとみられますが、このような時期であるからこそ「安全・安心」へのニーズは一層高まるものと考えています。

セコムは、withコロナ・afterコロナの時代を見据え、業務の見直しやシステム化により社員一人当たりの生産性を向上させつつ、新事業の創出・育成や、既存事業の拡充を確実に進め、成長スピードを加速していきます。

今後とも私たちセコムグループにご期待・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

持ち歩けるセキュリティ「ココセコム」をリニューアル スマートフォン専用アプリとの連携で一層便利に

セコムは3月、新たに開発したスマートフォン専用アプリとの連携機能により、一層便利に活用いただけるようになった新型「ココセコム」を発売しました。



「ココセコム」は2001年にサー
リニューアルした「ココセコム」
ビスを開始した日本初*の本格的な屋外用セキュリティ専用端末です。所持者や物の場所が分かる位置検索機能、緊急時のココセコムオペレーションセンターへの通報機能を備え、万一の際には要請に応じてセコムが現地に駆け付けます。ビジネスシーンにおいては、従業員の安全対策、重要物の盗難・紛失対策、車両や建設機械の運行管理や盗難対策などに広く活用されています。また、ご家庭ではお子さん、女性、高齢者の所在確認や緊急時の通報などに使用され、発売から20年を経て、これまでの貢献事例は約9,500件を数えます。

このたび端末性能を向上させた「ココセコム」は、スマートフォン専用アプリ「ココセコムあんしんアプリ」により、所持者の外出や設定場所への出入り、搭載車両の移動などをスマートフォンに通知する機能が加わりました。また、これまで従量制だった位置検索が、基本料金だけで回数の制限なく利用できるようになり、さまざまなシーンで一層便利に活用いただけるようになりました。

今後もセコムは、セキュリティのプロフェッショナルとして「安全・安心」を提供していきます。

*2001年4月時点（セコム調べ）

機能拡充により利便性をさらに高めた システムセキュリティ「AZ」の提供開始

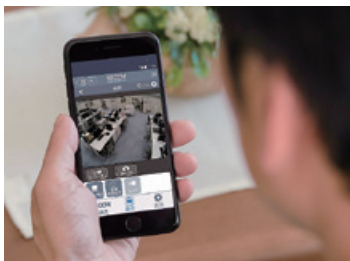
セコムは3月、法人向け主力サービスのシステムセキュリティ「AZ」の機能を拡充させ、提供を開始しました。

2019年9月に発売した「AZ」は、防犯・防災などのリスク管理や従業員の就業管理などをオールインワンで提供するサービスです。スマートフォン専用アプリを使って外出先からでもセキュリティ状態の確認や操作ができるなど、多彩な機能が特長です。

このたびの機能拡充では、利便性をさらに高めるために、IPカメラの映像をクラウドで管理する「セコム画像クラウドサービス」との連携機能を追加。これまで「AZ」に接続可能だった画像センサー、センサーライトカメラだけでなく、さまざまなIPカメラでライブ映像、警備のセット・解除時やセンサー検知時の記録映像を、高解像度で確認できるようになり、映像を把握したい場所や範囲に応じて設置できるカメラの選択肢が格段に拡がりました。

また、より確実なセキュリティ運用を行えるように、警備セット忘れ防止のためにあらかじめ設定した警備セット予定時刻前に通知する機能や、従業員の居残りや未開店などの把握のために、設定した時刻に警戒状態を通知する機能などを追加しました。

今後もセコムは、さまざまなニーズにお応えして、さらなる安全性や利便性を追求したセキュリティサービスの提供を目指していきます。



記録映像がスマートフォンで確認可能に

内閣府主催「日本オープンイノベーション大賞」で「バーチャル警備システム」が経済産業大臣賞を受賞

セコムが、AGC(株)、(株)ディー・エヌ・エー、(株)NTTドコモと協働して開発を進めている「バーチャル警備システム」が2月、内閣府主催の第3回「日本オープンイノベーション大賞」で経済産業大臣賞を受賞しました。

本賞は、日本のオープンイノベーションを推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取り組みを表彰する制度です。



先導的・独創的な取り組みが評価された「バーチャル警備システム」

2019年4月に試作機を発表した「バーチャル警備システム」は、常駐警備員が提供している業務のうち、警戒監視、受付などを、現実空間を映しこむディスプレイ体型ミラー上に3Dモデルとして表示した「バーチャル警備員」が提供し、対処、緊急対応

など熟練した常駐警備員ならではの能力と組み合わせ、新たな警備のあり方を実現するものです。昨年6月には新型コロナウイルス感染症予防のため、「バーチャル警備システム」を応用して、来訪者に検温やマスクの着用をお願いする実証実験を行いました。

今回の受賞では、大手企業同士のコラボレーションで人手不足という社会課題の解決策を創出した事例として、企業や研究者が集う「セコムオープンラボ」をきっかけに4社協働プロジェクトを推進している点などが評価されました。

今後も4社は引き続き連携を図りながら、2021年の商品化に向けて開発を進めていきます。

新型コロナ対策や最先端技術の活用が評価され 「ジャパン・レジリエンス・アワード」を7年連続受賞

セコムは3月、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「第7回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」において、新設された部門のSTOP感染症大賞で「最優秀賞」、企業・産業部門で「優秀賞」を受賞しました。



ジャパン・レジリエンス・アワード

2021

社会のニーズをくみ取った2つのサービスが評価された「ジャパン・レジリエンス・アワード」

「ジャパン・レジリエンス・アワード」とは、次世代に向けた“強靱化（レジリエンス）社会”を構築するために全国各地で展開されているさまざまな“強靱化”に関する先進的な活動を評価し、表彰する制度です。また今年は、感染症対策に貢献する取り組みなどを表彰する部門賞としてSTOP感染症大賞が新たに設けられました。

セコムは2015年、2017年、2019年、2020年に「優秀賞」、2016年、2018年に「最優秀レジリエンス賞」、2020年に「最優秀賞」を受賞しています。今年にはセコムならではの新型コロナウイルス感染症対策や最先端技術の活用が高く評価され、STOP感染症大賞で「セコム安否確認サービス」が最優秀賞を、企業・産業部門で自律走行型巡回監視ロボット「セコムロボットX2」が優秀賞を受賞しました。

今後もセコムは、グループの強みを活かして、あらゆる社会のニーズに対応するサービスを提供し、「国土強靱化」に貢献していきます。

アジア地域のセキュリティ会社3社がグループ入り 新たな成長市場への事業展開を強化



アジア地域のセキュリティ事業を強化

セコムは昨年9月から今年2月にかけて、アジア地域におけるセキュリティ事業拡大を目的に、マレーシア、シンガポール、香港

にあるセキュリティ会社の発行済み株式100%を取得し、3社がセコムのグループ会社となりました。

このたびグループ入りした3社は、いずれもアイルランドにあるジョンソンコントロールズインターナショナルPLC傘下のセキュリティ会社で、アジアの各地域において家庭や中小規模の法人などの幅広い分野に最先端のセキュリティシステムを提供しています。

これまでセコムは、海外13の国と地域でセキュリティ事業を展開し、法人施設などを中心に、高度なセキュリティサービスを提供してきましたが、3社のグループ入りにより、アジアで増加しつつある富裕層、中間層を含む新たな成長市場への事業展開が可能となります。

今後もセコムグループは、海外における業容拡大を一層加速させ、「安全・安心・快適・便利」に暮らせる社会の実現を目指していきます。

●グループ入りした3社の概要

会社名 (カッコ内：正式名称)	本社所在地	株式取得日
ADTマレーシア (ADT SERVICES (M) SDN.BHD.)	クアラルン プール	2020年 9月1日
ADTシンガポール (ADT INTEGRATED SECURITY SOLUTIONS PTE. LTD.)	シンガ ポール	2020年 10月1日
ADT香港 (ADT Alarm Monitoring Hong Kong Limited)	香港	2021年 2月5日

CDPのサプライヤー・エンゲージメント評価で 最高評価「リーダー・ボード」に初選定

セコムは2月、イギリスの国際的な環境NGOのCDPが2020年に実施したサプライヤー・エンゲージメント評価において、最高評価である「リーダー・ボード」に初めて選ばれました。

CDPの“サプライヤー・エンゲージメント評価”は、企業のサプライチェーン全体での気候変動に対する取り組みを、「ガバナンス」「削減目標」「スコープ3」「サプライヤーとのエンゲージメント（協働）」の4分野から評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「リーダー・ボード」として認定しています。2020年は世界で約400社、日本企業からは83社が選定されました。

セコムは、「安全で快適な暮らしの基盤が地球環境の保全である」との認識のもと、あらゆる事業活動において地球環境保全に配慮した行動を実践しています。これまで、自社活動に起因する温室効果ガスの排出削減だけでなく、主要サプライヤーに温室効果ガス排出量（スコープ3）の算定と削減を求め、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減に努めてきました。

今後も、日本政府の目標「2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする」を踏まえ、セコムグループはもとより、サプライチェーン全体で脱炭素社会の実現を目指していきます。

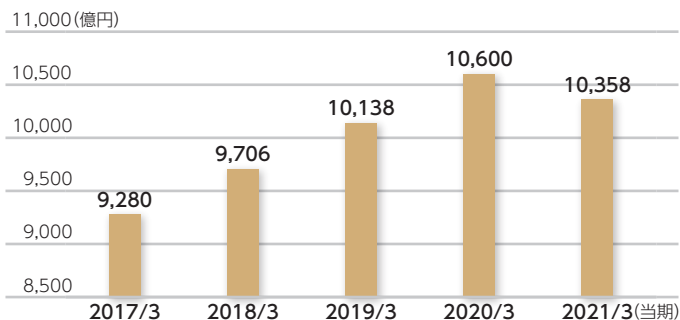


サプライチェーン全体での
気候変動に対する
取り組みが評価された

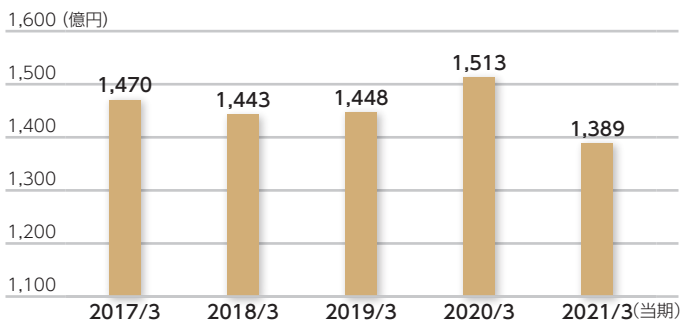
Review

連結決算 業績ハイライト

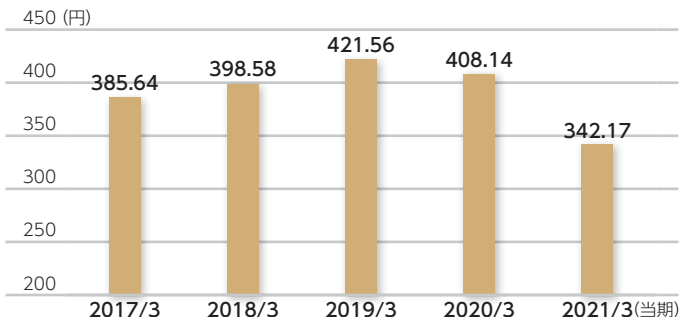
● 売上高



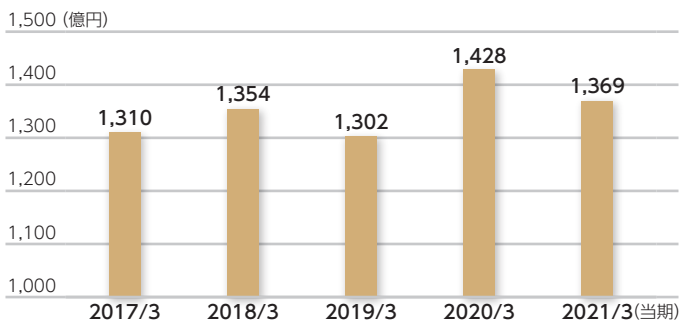
● 経常利益



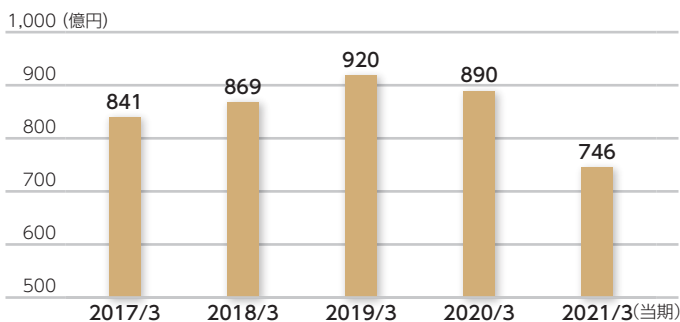
● 1株当たり当期純利益



● 営業利益



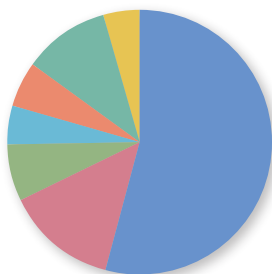
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 事業別売上高内訳 2021/3 (当期)

(億円)

● セキュリティサービス事業	5,615	54.2%
● 防災事業	1,426	13.8%
● メディカルサービス事業	716	6.9%
● 保険事業	494	4.8%
● 地理空間情報サービス事業	548	5.3%
● BPO・ICT事業	1,120	10.8%
● 不動産・その他の事業	437	4.2%



● 営業の概況（連結）

当連結会計年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益が大幅に減少するなど厳しい状況で推移し、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動などの影響に留意が必要な状況が続きました。また、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気は持ち直しの動きも見られました。

このような状況のなか、当社グループは、「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する「社会システム産業」の構築をめざすなかで策定した「セコムグループ2030年ビジョン」、また、その実現に向けて今何をすべきかを明確化した「セコムグループロードマップ2022」への取り組みを積極的に展開しています。

これらの結果、当連結会計年度は新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、売上高は1兆358億円（前期比2.3%減少）、営業利益は1,369億円（前期比4.2%減少）、経常利益は1,389億円（前期比8.2%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は746億円（前期比16.2%減少）となりました。

Profile

● 会社概要



セコム株式会社

設立 …… 1962年7月7日

所在地 …… 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-5-1

資本金 …… 664億円

- グループ総会社数 (セコム(株)含む) …… 182社
連結子会社数 …… 165社
持分法適用関連会社数 …… 16社
- グループ総社員数 …… 64,119名
(2021年3月31日現在)

取締役 (2021年6月25日現在)

取締役 (最高顧問)	飯田 亮
代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司
取締役 (社外)	廣瀬篁治*
取締役 (社外)	河野博文*
取締役 (社外)	渡邊 元*
取締役 (社外)	原 美里*

監査役 (2021年6月25日現在)

監査役 (常勤)	伊東孝之
監査役 (常勤)	加藤幸司
監査役 (社外)	加藤秀樹*
監査役 (社外)	安田 信*
監査役 (社外)	田中節夫*

*印の7名を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

執行体制 (2021年6月25日現在)

● 取締役

代表取締役会長	中山泰男
代表取締役社長	尾関一郎
専務取締役	吉田保幸
常務取締役	布施達朗
取締役	泉田達也
取締役	栗原達司

● 執行役員

常務執行役員	古川 顕一
常務執行役員	竹田正弘
常務執行役員	水野都飽
常務執行役員	石村昇吉
常務執行役員	新井啓太郎
常務執行役員	上田 理
常務執行役員	山中善紀

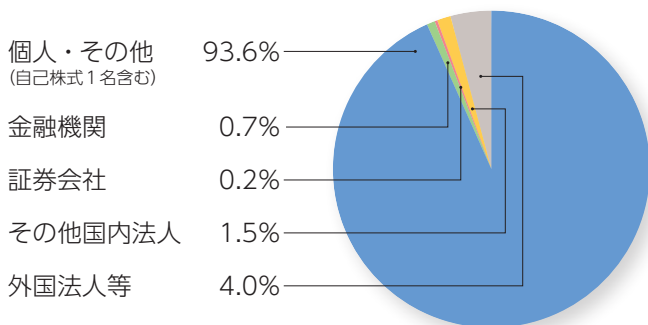
執行役員	杉本陽一
執行役員	福満純幸
執行役員	進藤健輔
執行役員	桑原靖文
執行役員	福岡規行
執行役員	赤木 猛
執行役員	佐藤貞宏
執行役員	長尾誠也
執行役員	植松則行
執行役員	永井 修
執行役員	小松 淳
執行役員	御供和弘
執行役員	千田岳彦
執行役員	中田貴士
執行役員	森田通義
執行役員	稲葉 誠
執行役員	杉本敏範
執行役員	荒木 総

Information

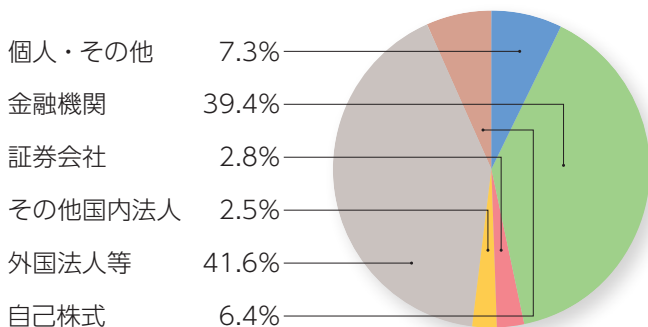
● 株式の状況 (2021年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 …………… 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 …………… 233,295,926株
3. 単元株式数 …………… 100株
4. 株主数 …………… 21,739名
5. 所有者別状況

● 株主数比率



● 株式数比率



● 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主優待制度 毎年3月31日現在における当社株式
100株以上保有の株主様に、当社グループで利用可能な優待券を贈呈。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<https://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場合
には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

● 株式に関する各種お手続きについて

- 証券会社に口座がある
株主様は… ▶ 口座がある証券会社へ
お問い合わせください。
- 特別口座に
記録されている株式の
株主様は… ▶ 下記の特別口座管理機関
三菱UFJ信託銀行(株)へ
お問い合わせください。
- 未払い配当金の
お支払いに関する
お問い合わせは… ▶ 下記の株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部


ご郵送先

〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きに関する
お問い合わせ

 **0120-232-711**

[平日9:00~17:00]

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

「大切」な家族のために。



あなたの「大切」を、セコムする。



セコム・ホームセキュリティ

 **0120-756-892**

(9時～18時 年末年始を除く)

セコム **検索**

セコム株式会社

〈表紙写真のご説明〉

24時間体制で監視業務を行う「ココセコムオペレーションセンター」(上)と、端末性能を向上させた新型「ココセコム」(左)



本誌は環境に配慮し、FSC® 認証紙および植物性インキを使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。